



## 今月新しく入りました。

### ●一般の本

／94歳。寄りかからず。前向きにおおらかに(作＝吉沢久子)／夢幻花(作＝東野圭吾)／93番目のキミ(作＝山田悠介)／冬芽の人(作＝大沢在昌)／よだかの片想い(作＝島本理生)／国循の美味しい！かるしおレシピ(作＝国立循環器病研究センター)

### ●子どもの本

／はなこ、野の花、野のきつね(作＝しん きみこ)／チョーシンくんのだいぼうけん(作＝二見正直)／パパっていった！(作＝松岡 節)／シバ犬のチャイ(作＝あおきひろえ)／おかしなおかし(作＝石津ちひろ)／やじるし(作＝平田利之)

## 中でもこの本が **オススメ** です。

### リボン

作＝小川 糸



だいじょうぶ、こわくないよ。小さな命が寄り添ってくれた……。ある日、なかよしのおばあさんと少女が小さな鳥の卵を見つけ、ふたりで大切に育て始める。少女のてのひらの上で生まれたのは、一羽のオカメインコ。黄色い小鳥は、羽ばたきとともに人々をやさしく結びつけていくのだった。懸命に生きる人々の再生を描く物語。

### おもかげ橋

作＝葉室 麟



剣は一流だが、道場には閑古鳥が鳴く弥市。武士の身分を捨て、商家に婿入りした喜平次。二人は、彼らを裏切り国許から追放した勘定奉行の娘で、初恋の女・萩乃と16年ぶりに江戸で再会し、用心棒を引き受ける。一方、国許では、かつて化け物と恐れられた男が藩政に返り咲き、藩を二分する政争の余波が、江戸の二人にも及ぼうとしていた……。

### いい子じゃないもん

作＝田部智子



わたし都。お年寄りの施設ではたらくお母さんと二人で駅向こうのアパートに住んでいるの。「地味でおとなしくて、きちんとしたい子」って言われているのにギモンを感じて、ちょっぴり悪い子になってみようとするんだけど、なんだか うまくいかなくて……。

### もぐもぐもぐ

作＝よねづ ゆうすけ



チーズが大好きな、ねずみさん。ページをめくると、チーズをぱくくん！ねこさん、うさぎさん……かわいい動物たちがつぎつぎと大きなお口に大好きな食べ物をパクリ。すると、みんなにっこり笑顔に。「食べる」という基本的な行為の喜びがわかりやすく表現された、幼いお子さまから楽しめる、穴あきしかけ絵本です。

／7月の休館日は、1日(月)～5日(金)です。

／特別整理期間となっていますので、返却期限が過ぎている本は、至急ご返却ください

／開館時間は午前9時から午後5時まで



最近話題になっている遺伝性乳がんって何ですか？ (37歳・女性)

日本の死亡原因の第1位はがんです。特に女性では乳がんの死亡数が増加しています。乳がんは日本人女性にとって最もかかりやすいがん、罹患する確率は、16人に1人と言われています。

## 遺伝性乳がん

乳がんのうち、5〜10パーセントが遺伝性乳がんによるものとされており、原因遺伝子はBRCA1とBRCA2が代表的で、これらの遺伝子に生まれつき変異があると乳がんや卵巣がんを発症するリスクが高くなることが分かっています。

遺伝子変異は50パーセントの確率で子どもに受け継がれ、男女で確率の差はありません。

BRCA遺伝子変異のある人は40歳未満の若年者が多く、一部は進行が早いとされ、また同側あるいは対側に乳がんが多発する傾向があります。

50歳までに乳がんを発症する確率は33〜50パーセント、70歳までに発症する確率は56〜87パーセント。同じく卵巣がんでは27〜44パーセントという高い確率となっています。

## 遺伝性乳がんのチェック

次の項目に血縁者と本人で一つでも当てはまる項目があれば遺伝性の可能性が高まります。

- ① 40歳未満で乳がんを発症した人がある
- ② 年齢を問わず、卵巣がんの人がいる

③ 乳がんを2個以上発症した人がある

④ 男性で乳がんを発症した人がいる

⑤ 乳がんを発症した人が3人以上いる

⑥ トリプルネガティブ乳がん（エストロゲン受容体、プロゲステロン受容体、HER2がいずれも陰性）と言われた人がある

⑦ BRCA遺伝子の変異が確認された人がある

血液検査によってその遺伝子の変異を確認することができ、白血球からDNAを取り出して遺伝子変異があるかどうか調べますが費用は20数万円かかります。予防的な乳房切除も含め日本の医療保険では認められていません。

しかし、若いときから頻回の検診をして行くことによって、早期発見・早期治療が可能です。項目に当てはまる人には、20歳頃から月に1回の自己検診、25歳からは、年に1回の専門医によるマンモグラフィ（あるいは超音波検査やMRI）検診をお勧めします。

マンモグラフィ



は、乳房専用のX線撮影装置を用い、乳房をプラスチック板で挟んで撮影する検査です。医療機関を選ぶときは、乳腺専門医や撮影認定診療放射線技師がいること、マンモグラフィ検診施設の画像認定や精度管理を受けていることを確認してください。

BRCA1とBRCA2遺伝子に生まれつき変異があると乳がんや卵巣がんを発症するリスクが高くなるもので、乳がんのうち、5〜10パーセントが遺伝性乳がんです。



「アドバイザー」

勝木 健文・かつき たけふみ・平成7年産業医科大学卒業後、門司労災病院、北九州市立医療センターなどを経て現在は産業医科大学病院消化器・内分秘外科に勤務。くらて病院にて毎週水曜午後1時に乳腺外来に勤務。日本外科学会専門医、日本乳癌学会認定医、日本内分秘・甲状腺外科専門医、検診マンモグラフィ読影認定医。42歳